



主要事業マネジメントシート

部局名

事業名	大阪圏鉄道網整備費				／ 担当室課 交通道路室都市交通課						
予算額	H24	1,108,300 千円(1,300 千円)	H26	2,689,100 千円(1,100 千円)	実績	H24	1,146,095 千円(2,095 千円)	
	H25	2,829,973 千円(1,973 千円)	H27要求	1,607,000 千円(1,000 千円)		H25	1,978,036 千円(2,036 千円)	
事業の優先性	<input type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】(項目名:) <input checked="" type="checkbox"/> 成長戦略(項目名: 人流を支える鉄道アクセス・ネットワーク強化) <input checked="" type="checkbox"/> その他(項目名: 中期財政展望事業)				<input type="checkbox"/> 人口減少関係(項目名:) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン(項目名:)						
事業選択	役割分担	民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他(理由) 鉄道新線整備は地域の活性化や都市機能向上に寄与する事業であり、広域自治体として、沿線市と共に適切な助成を行う必要がある。		行政としての役割	<input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input checked="" type="checkbox"/> 国の役割 <input checked="" type="checkbox"/> 市町村の役割(理由) 鉄道新線整備は地域の活性化や都市機能向上に寄与する事業であり、広域自治体として、沿線市と共に適切な助成を行う必要がある。					
	事業手法	手法の妥当性	本事業は、大阪市外縁部において放射状鉄道を相互に連絡することにより、新たな鉄道ネットワークを形成し、都心ターミナル等の混雑緩和を図るとともに、沿線のまちづくりに寄与することを目的としている。そのために、幹線鉄道等活性化事業費補助制度に基づき、建設主体である大阪外環状鉄道(株)に対して、大阪市・東大阪市・吹田市・八尾市と共に出資、補助、貸付を行っている。								
		受益と負担	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準:) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由:) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない								
		将来のリスク管理	補助金検査等により、適切な事業管理がなされているかどうかを確認している。事業計画に比べ事業費の増高が見込まれる場合には、やむを得ないと認められる場合に限り、他関係者と共に負担する。								
	事業間調整	庁内での連携									
他事業との整合性等		庁内の関連事業は大阪外環状線(東大阪市)連続立体交差事業、庁外の関連事業は大阪外環状線(大阪市)連続立体交差事業・淡路駅周辺地区土地区画整理事業 これらの事業とは相互に情報共有を図り、円滑な事業進捗及び開業後の鉄道利用者の利便性向上に向けた取り組みを進めている。									
事業効果	目標・指標	(事業目標)	平成30年度全線開業						-目標に達しなかった場合の見直し・改善方策		
		(指標)	—						—		
		(実績)	 平成20年3月 南区間(久宝寺駅～放出駅)開業						—		
	(事業期間)	H 8 ~ H 30									
コスト分析	(指標)										
	H24(フルコスト)	千円	／	(指標数値)	=	千円	 (コスト分析結果)				
	H25(フルコスト)	千円	／	(指標数値)	=	千円					
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合等に記入>										